

## 教育委員会委員に

松野勝夫氏 が再任  
高桑奈美氏 が新任

10月1日付けで市教育委員会の編成が変更されました。教育長職務代理者には松野勝夫氏が選任されました。

## ウエイトリフティング

## 江端龍生選手 国体連覇を達成！



10月4日(木)～8日(月)に福井県で開催された第73回国民体育大会ウエイトリフティング競技の少年男子85kg級・クリーン&ジャーク競技で、高校3年生の江端龍生選手(郷2)が優勝しました。昨年の第72回大会に続き、クリーン&ジャーク競技で見事連覇を成し遂げた江端選手。優勝報告で栗市長を訪ねた江端選手は「連覇はなかなかできないことだと思うので素直にうれしい」と喜びを語りました。

## 【江端選手成績】

スナッチ	117kg (第2位)
クリーン&ジャーク	153kg (第1位)
トータル	270kg (第2位)



## 表彰

## 県知事表彰



北村 邦夫 氏  
(御経塚1)

多年にわたり、交通安全協会役員として交通安全の推進に尽力された。

## 市感謝状

## ▽井戸谷 信雄様

一般寄附(ふるさと納税)として5万円(累計20万円)を寄附され、市勢の発展に多大な貢献をされた。

## ▽横山 平八郎様

一般寄附(ふるさと納税)として30万円を寄附され、市勢の発展に多大な貢献をされた。

## ▽野々市ライオンズクラブ様

野々市中学校に卓球台およびプロジェクター、布水中学校にキーボード7台を寄贈され、教育振興に多大な貢献をされた。

## ご寄附

ありがとうございました

## ふるさと納税へ

▽中土 芳雄様から

5万円

## 市社会福祉協議会基金へ

▽直喜 節子様から

5千円

## 入札結果

1000万円以上(税込み)

9月分入札

## 野々市中林土地地区画整理事業

四十万末松線街路築造工事 第7工区

予定価格 1171万8000円

落札価格 1115万6400円

落札者 (有)コウセイ

## 野々市中林土地地区画整理事業

堀内上林線街路築造工事 第2工区

予定価格 1938万6000円

落札価格 1906万2000円

落札者 (株)日豊技研

## 野々市中林土地地区画整理事業

堀内上林線街路築造工事 第3工区

予定価格 1686万9600円

落札価格 1598万4000円

落札者 (株)下川組

## 野々市西部中央土地地区画整理事業

高尾郷線街路築造工事 第7工区

予定価格 2959万2000円

落札価格 2829万6000円

落札者 (株)野々市工建

## 野々市西部中央土地地区画整理事業

区画街路築造工事 第2工区

予定価格 2926万8000円

落札価格 2775万6000円

落札者 (株)河合組

## 野々市西部中央土地地区画整理事業

区画街路築造工事 第3工区

予定価格 1809万円

落札価格 1717万2000円

落札者 (有)石原建設工業

## 野々市西部中央土地地区画整理事業

区画街路築造工事 第4工区

予定価格 2959万2000円

落札価格 2808万円

落札者 (株)升方工務店

## 30・24 西部中央土地地区画整理事業

に伴う配水管布設工事 第3工区

予定価格 1217万1600円

落札価格 1112万4000円

落札者 川畑工業所

## 11月は乳幼児突然死症候群(SIDS)対策強化月間

問い合わせ  
◆健康推進課  
☎248-3511

## 乳幼児突然死症候群とは？

何の予兆や既往歴もないまま乳幼児に突然の死をもたらす疾患を「乳幼児突然死症候群(SIDS)」といいます。原因の分からない病気で、窒息などの事故とは異なります。平成28年には全国で109人の赤ちゃんがSIDSで亡くなっており、乳児期の死亡原因の第3位です。

## 発症リスクを低くする3つのポイント

①1歳になるまでは、寝かせる時はあおむけに寝かせましょう

SIDSは、うつぶせ、あおむけのどちらでも発症しますが、うつぶせに寝かせた時の方が発症率が高いことが分かっています。医学上の理由でうつぶせ寝を勧められている場合以外は、赤ちゃんの顔が見えるあおむけに寝かせましょう。

米国立衛生研究所によると、赤ちゃんがあおむけからうつぶせと、うつぶせからあおむけのどちら側からでも自分で寝返りができるようになったら、あおむけ寝の姿勢に戻す必要はないとされています。SIDSのリスクを減らすために、眠り始める時にあおむけ寝の姿勢にしてあげることで、寝返りをした時に備えて赤ちゃんの周囲に柔らかな寝具などを置かないようにしましょう。

②できるだけ母乳で育てましょう  
母乳で育てられている赤ちゃんの方がSIDSの発症率が低いことが分かっています。

③周りの大人はたばこをやめましょう  
たばこはSIDS発症の大きな危険因子です。父親と母親が喫煙者である場合は、リスクが数倍上がるといわれています。子どもの受動喫煙はSIDSや呼吸器症状などの健康被害を招きます。

さらに、妊娠期間からの喫煙は胎児の呼吸機能にも影響を及ぼします。妊娠期間から喫煙は控え、赤ちゃんのそばでの喫煙はやめましょう。



SIDSには確立した予防法がありませんが、これら3つのポイントがSIDS発症の危険性を低くするというデータが得られています。12月以降の冬期にSIDSが発症しやすい傾向があるため、これからの寒くなる時期はより注意が必要です。乳幼児がいる家庭は3つのポイントを実践しましょう。

## 健康通信

